



# 安来市立病院 地域連携室つうしん

NO.52  
令和4年6月



～月山富田城からの眺め～



## 新年度を迎えて ～桜梅桃李のように～

～地域医療部長 内田久美子～



昨年度もコロナ禍のなか、多くのご紹介をいただき感謝申し上げます。

令和4年4月より、地域医療部長を拝命いたしました。平成17年に地域連携室を立ち上げて以来しばらくの間、関連する業務から離れておりました。市民の皆さまが、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関の皆さまのご協力を賜りながら、公立病院としての責務が果たせるよう微力ではありますが努めて参りたいと思っております。引き続きご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

さて、公立病院をめぐる議論が新たに総務省から示され注目されています。医療については、ひとつの病院でも地域でも完結することが困難になってきており、当院においても地域や圏域を超えた連携がより重要になってきています。中小の病院での医師確保も大きな課題であり、2024年度に始まる医師の時間外労働規制により医師不足が懸念されるところです。桜梅桃李のごとく、それぞれが独自の美しい花を咲かせ個性を磨きながら、安来市の地域医療を守るために、更なる連携・協力をいただきますようお願い申し上げます。

## 副院長就任のごあいさつ

### ～副院長 水田正能～



4月から副院長に就任いたしました。安来市立病院は、周辺の人口減少により、外来患者の減少など病院経営は厳しい状況が続いております。また医師不足、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による受診控えなどが追い打ちをかけ、今後の将来設計には強い意志と決断が必要です。そのための切れ目のない改革を推進するため、令和4年3月に新しく「安来市立病院改革プラン」を策定いたしました。このプランの達成が、市立病院としての使命を果たすと考え、努力してまいります。

私は平成23年に当院に就職して以後は、主に健診部門を担当しております。平日の健診に加えて、休日の特定健診やがん検診など、受診件数の増加に努め、平成23年以降の健診部門の実績はのびております。令和2年度もコロナ禍において、休日などの健診は実施できませんでしたが、健診件数は前年並を維持し、収益は前年を上回っております。今後も、健診などの収益向上に努めてまいります。

## 診療部長就任のごあいさつ

### ～診療部長 太田原宏子～



この春から診療部長を拝命しました太田原宏子です。鳥取大学を1986年に卒業し、その後、臨床教授のもとで学位を取得しました。専門は小児科です。

さて、安来市立病院はご存じのようにもともと山間地の多い旧広瀬町立広瀬病院を母体としますが、安来市、旧伯太町と合併し今日に至っています。この間大学の臨床研修制度が始まり、地方での医師確保が極めて困難な時代となりました。医師の高齢化もあり、当院の医師数は近年持続して減少を続けておりますが、なんとか心意気とチームワークで崖っぷちで持ちこたえております。

急性期を担う地域病院としての役割を今後も維持しながら、超高齢化社会に対応し、安来市民が安心して暮らせる医療を微力ながら志して参ります。当院は昨年度から訪問診療も開始しました。長引くコロナ禍で、コロナ患者への対応やワクチン接種など、今後も息の長い対応が求められそうです。

市内の先生方、そして近隣の高次病院の先生とは、今後も密接に連携をとりながら、難局を乗り越えて参りたいと思っています。ご負担をかけることも多々あるかと思いますが、ご理解、ご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願い致します。





# 新任医師紹介

## ～外科 久光和則～



令和4年4月より外科医師として着任しました。

平成6年鳥取大学医学部卒業後、第一外科入局。平成9年から11年までの3年間は国立がんセンター中央病院レジデントとして研修したほか、大学病院や市中病院で勤務しました。最近の20年程度は、急性虫垂炎や急性胆のう炎、鼠径ヘルニアなどの一般的な外科診療を行いつつも、消化器癌診療、特に最近では直腸癌の腹腔鏡手術が診療の中心になっていました。

安来市立病院に着任後は、癌診療を自身の診療の中心に置くわけには参りませんので、どのように地域の皆様のお役にたてるのか模索しているところです。直腸肛門の解剖生理には比較的強く、これまでも肛門疾患(痔核、裂肛、痔瘻)の診療にも力を入れてきましたので、比較的受け皿の少ない肛門疾患において皆様のお役にたてるようさらに研鑽しようと考えています。肛門疾患は、患者様自身が受診をためらうことも多いうえに、肛門疾患を診療できる外科医が意外に少ないことから、どこに受診してよいか分からないようです。開業医の先生方もどこに紹介してよいか案外迷っておられるのではないのでしょうか。無論、肛門は非常にデリケートな臓器ですから、メスを加えるか加えないかの判断も慎重になるべきです。患者さんと相談しながら診療していこうと思います。どうぞよろしくお願ひします。

## ～内分泌内科 北尾苑子～



この度、2022年4月に安来市立病院に着任致しました、内分泌代謝内科の北尾苑子と申します。

2014年に島根大学を卒業後、鳥取大学医学部附属病院内分泌代謝内科へ入局し、以後は鳥取大学医学部附属病院で糖尿病を中心とした生活習慣病や肥満診療に携わって参りました。大変微力ではございますが、健康維持や健康増進を目指した地域医療へ少しでも貢献出来ますように、努力

して参りたいと思っております。糖尿病教育入院や生活習慣病指導など必要な患者様がおられましたら、お気軽にご紹介を賜りましたら幸甚です。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。



## 訪問栄養指導の開始にむけて

当院では、高齢者の入院患者が多く、フレイル・サルコペニアの状態であることも珍しくありません。日々の業務の中で、在宅での栄養指導の必要性を強く感じているところです。

そこで、疾病や負傷のために、現在通院が困難な在宅療養中の方のご自宅に、管理栄養士が定期的に訪問させていただき、栄養指導、調理指導、献立の提案などさせていただき、「訪問栄養指導」の開始に向けて準備をすすめています。

医師、看護師、ケアマネージャーなど関係する多職種とも共有し、連携を図り、在宅での食生活をサポートさせていただきます。お問い合わせは、栄養管理室、地域連携室までお願いいたします。

### ※在宅患者訪問栄養指導料 I

**医療保険(530点/30分) ・ 介護保険(544単位/30分)いずれも月2回まで。**

よろしくお願  
い  
申し上げます(´▽`)



医療関係者の皆様に、当院病棟が受け入れ可能な状態であるかの確認ができるように「空床情報」をホームページに掲載をするなど、利用頂きやすい環境を整えました。

また、9月からは、6月に開始した在宅医療の実績により、地域包括ケア病床が「地域包括ケア病棟 I」の算定要件を満たしたため、その届出を行うと共に43床に増床いたしました。右のQRコードからご確認頂けますので、ご活用ください。



病院QRコード

地域連携室は、  
先生方のお役に立てるよう尽力いたします。  
ご依頼お待ちしております！



### 安来市立病院 地域連携室

担当：竹田・田中・長島・山本・金山

予約受付時間 8:30~17:00

TEL 0854-32-2333

FAX 0854-32-2335